

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2012年7月
第9号
(年4回発行)

お盆号

発行部数3千部



「思い遣りの心を持つという事」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／極楽浄土とはどんなところ？
実践教室／精霊棚をつくる
仏事相談／仏壇の中の位牌を置く位置は？

思い遣りの心を持つという事

最近、駅などでよく見かける広告には、マナーをうたったものも多く見かけます。日常のマナーの意義とはどのようなことなのでしょう？ご住職に話しを伺いました。



問 近頃、マナーやルールについての記事や広告を多く見るようになってきましたが、中には当たり前と感じるものもありますね。

住職 そうですね。ただ、当り前のことができなくなってきたという言ふことなのかもしれません。

問 マナーというとは日本語では、礼儀作法や行儀という言葉にあてはまります。私も子どもの頃は「お行儀よくしなさい」と躰に厳しかった母によく言われていました。この行儀や躰も仏教に由来する言葉ということですが…。

住職 はい。行儀は、仏事の方式あるいは僧侶の行為や動作の作法を表す言葉として使われてきました。「お行儀よく」はもつとずつと後になつて「よく行儀を守つてゐる、乱れがなくなりちんとそろつてゐる」という意味で使うようになったそうです。

問 行儀のよさというのは、育つ環境の中で培われていくものと言われていますが、家庭での躰によるものも大きいのではないのでしょうか？

住職 そうですね。先日、法事の席で、「最近では、子どもたちが育つていく環境の中で、親戚や近所の人など多くの大人と関わる機会がないまま大人になつてしまつてゐるから、敬う心も育たないのかもしれない」という話が出ていました。子どもは、まわりの大人たちの行動を見てまねて、時には叱られながら学んでいくものです。「ありがとう」と感謝する気持ちや、神仏や目上の者を敬ふことなどね。行儀：マナーは、敬う心や思いやりの心でもありますから、それを教わる機会が様々な行事の中での大人との関わりだと思ひます。もちろん、我々も尊

敬されるような大人であることが大切ですけどもね（笑）。

問 そのことにもつながると思うのですが、先ほど、こちらに伺う際に、遅れて登園されたあずま幼稚園の園児さんとお母さんがいらして、本堂の前で、お母さんがお子さんに向かって「ちゃんとご挨拶するのよ」と親子で手を合わせている姿をお見かけしました。こちらでは皆さんそうされるのですか？

住職 はい。最近、特に徹底するようにしているのです。

問 その親子の様子を見て、育っていく環境の中で、敬意を表すことや感謝する心を身につけるとはこういう事なのだなと思いました。

住職 昔前は、食事の仕方ひとつにしても、箸の動かし方など親やまわりの大人たちから注意を受けたりもしていました。ドアを開けたら閉める、脱いだ履物をそろえることだつてね。ちゃんとできて当たり前ののですが、今はそれすらできない人

もいるようです。大人であつてもマナーの守れない人は、家庭や社会で、それを学ぶ機会が少なかったのかもかもしれませんね。

問 マナーについては、子どもや若い方たちだけでなく、私たち大人も気をつけなければいけませんね。知らず知らずに行なっていることが実は、人に不快な思いをさせている場合もありますし。

住職 礼儀作法というと堅苦しく感じてしまうかもしれませんが、本来、マナーとは思いやり、まごころの表現が形になったものです。心が形に現れ、形が心を守っていくものなのだと思います。また、行儀のよい様を目にすると見る人の心を清々しくさせるものです。

問 自分もまわりの人も快適でいられるように心がけることが礼儀作法、マナーそして、おもいやりの心につながるのですね。本日はありがとうございました。

暮らしの中の 仏教語

「しつけ」【躾】

「身」に「美」と書いて『躾（しつけ）』という漢字になります。この漢字は、しつけの対象を礼儀作法に限定する武家礼式の用語として生まれた国字（日本人が作った和製漢字）なのだとか…。見ていると何だか背筋をしゃんと伸ばしたくなる漢字ですね。さて、この「しつけ」という言葉、もともとは仏教語で「習慣性」を意味する「しつけ（習気）」が一般に広まっていく過程で“しつけ”に変化していきました。裁縫では、縫い目を正しく整えるためにしつけ縫いを行いますし、田畑に作物を植える際に、曲がらないようにする植え付けも“しつけ”と言うそうです。

人もきちんと躾られていてこそ、後に美しい所作ができるようになるのかもしれないですね。



極楽浄土はどんなところ？

浄土宗では、どのような人々も、念仏を称えるならば、生命を終えたのち生まれる（行きつく）ことのできる永遠のやすらぎの世界が極楽浄土であると説いています。極楽浄土とはどのようなところなのでしょう？

浄土宗の教えのよりどころとなっている『浄土三部経』の「無量寿経」には阿弥陀如来が悟りを開く前にたてた四十八の誓願と極楽浄土の由来、また念仏による往生の実践方法がかかれ、「阿弥陀経」には極楽浄土がどのようなところかが説かれています。



浄土と天国

仏式のお葬式の間であっても「天国で安らかに眠りください」こんな言葉を耳にします。「浄土」と「天国」は同じもののようなイメージがあるのかもしれませんが。

しかし、仏教では、「天」と言えば天上界、また、神々のことです。帝釈天や毘沙門天も元はインドの神様で、後に仏様の教えを守る守護神となったものです。

ですから、天国という仏教の立場では、そのような神々の住む世界という意味になってしまいます。

仏教では、生きとし生けるものは全て自らの業により、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上という六つの迷いの世界を輪廻する（六道輪廻）と説いています。つまり「天上」も迷いの世界のひとつなのです。阿弥陀さまは、その迷いの世界にいる生きとし生けるものを悟りの世界に救ってくださるのです。そして、この阿弥陀如来の世界こそが極楽浄土なのです。

極楽浄土はどんなところ

浄土とは、仏さまの住む清らかで穢れない世界のことです。「仏国土」ともいいます。薬師如来のつくる東方淨瑠璃世界や大日如来のつくる密嚴浄土などいろいろな仏さまがそれぞれに浄土を築き、そこで説法をしていると説かれています。そして、浄土宗の本尊である阿弥陀如来が建立したのが西方十萬億土の彼方にあるとされる極楽浄土です。西方とは、日の沈むところを表し、私たちの人生の終わるところを示していますので、西の方角に限定していることではありませんが、私たちでは考えも及ばない彼方で、そこは、美しい花々が咲き誇り、光り輝く温かで清らかな無量光明（仏さまの限りなき光）に満ちた世界と示されています。

精霊棚をつくる

お盆には、家庭の仏壇・仏具を清め、仏壇の前に精霊棚を設けるのが習わしとなっています。近年では、住宅事情など様々な理由で昔ながらの精霊棚を作る家庭も減ってきているのではないのでしょうか？

では、昔ながらの精霊棚とはどのようなものなのでしょうか？

多くの地方では、12日か13日の朝に、ご先祖や故人の霊を迎えるための精霊棚をつくります。

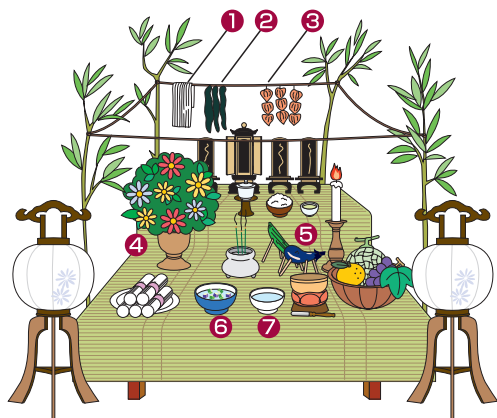
地方や地域、習慣より、作り方に違いはありますが、精霊棚は盆棚とも言われ、位牌を安置しお供えをする棚です。台の上に真菰（まこも）を敷き四隅に葉のついた青竹を立てて、その上部に縄を張ります。縄には、ほおずき、昆布、素麺などを吊るし、真菰の上には、中央奥に先祖たちの位牌を安置し、仏具、花、ナスの牛やキュウリの馬、季節の野菜や果物、精進料理を供えた

仏膳などを供えます。また、水の子やあかみず 閼伽水もお供えします。

◆ほおずき

祖先の霊が迎え火や提灯の明かりを頼りに帰ってくるといわれることから、ほおずきを提灯に見立てて精霊棚にかざります。また農作物の収穫が少

- ①素麺
- ②昆布
- ③ほおずき
- ④仏花
- ⑤なす・きゅうり
- ⑥みずのこ
- ⑦閼伽水



なかった時代には、鮮やかな赤のほおずきをお供えすることによって、お供え物の不足を補う意味があったと言われています。

◆なすの牛・きゅうりの馬

なすときゅうりにオガラを刺して、祖先の霊がこの世との往復に使う乗り物として供えられます。

◆水の子

なすやきゅうりをさいの目に刻み、洗った米を混ぜて清水を満たした器（又は蓮の葉）に入れます。



お盆の習わしは、地域や宗派、また時代によってさまざまな違いがあります。何よりもお盆で大切なことは、家族や親族が集まり、ご先祖や故人を偲び、今ある私たちをかえりみて感謝する気持ちです。心をこめてお盆の準備をしてお迎えしたいですね。

■西願寺大施餓鬼会法要のご案内■

先祖追福のために、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分自身の福德延寿を願う法要であるお施餓鬼は、年に一度の大供養法要ですので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席ご参詣いただき御仏前にご焼香供養ください。

日時／平成24年8月18日（土）

13時より余興（落語）

14時より法要

場所／西願寺本堂



当日は、

三遊亭春馬師匠の落語があります。皆さまお誘い合わせのうえ足をお運びください。

西願寺 別時念佛会のご案内

こころの安らぎともなるお念佛をご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日

18時より

場所／西願寺本堂



■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。

【申込・お問合せ】

西願寺 TEL. 048-925-1723

3.11わすれない東日本大震災 追悼チャリティーライブコンサート

去る3月10日、西願寺本堂では、シンガーソングライターの濱守栄子さんを招いて、追悼チャリティーライブコンサートが開催されました。

当日の参加費の全てを義援金として、濱守さんを通じて被災地へ届けられました。

Q & A

Q 仏壇の中に先祖の位牌を中心に置いていたら「間違っている」と言われてしまいました。位牌の置く位置はどこにすればよいのでしょうか？

A 仏壇は、位牌や本尊の単なる置き場所ではありません。仏さまとその弟子たちを祀るところで、家族の心の拠り所、家庭の中にあるお寺なのです。浄土宗の本尊である阿弥陀如来を中心にその左右に観音・勢至両菩薩、あるいは善導大師および法然上人を祀り、その下段に位牌を祀ります。位牌が一つの場合は向かって右に、二つのときは、仏壇では同じ高さの場合、向かって右が上座となるので、右に古いものを、左に新しいものを置くようにしましょう。



毎週水曜日は管理事務所の定休日

とさせていただきます。事務手続き、電話問合せなどの業務はおこなえません。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

尚、墓所へのお参りは通常どおり開門しておりますのでご自由にいらしてください。



■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思えます。また、「さんか」についてのご感想もお待ちしております。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (3295) 1300
Mail: info@b-co.net

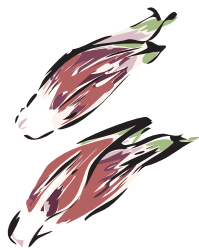
■次号予告

次号は平成二十四年八月発行予定の「お彼岸号」です。

季節の雑学

「夏が旬の野菜 茗荷の逸話」

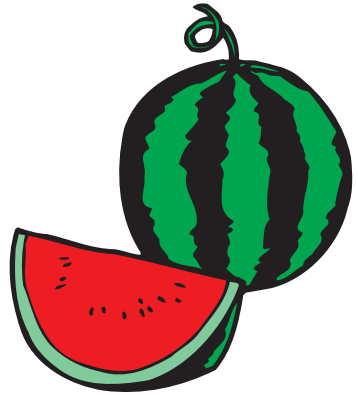
夏が旬である日本独自の香味野菜「茗荷」。独特の香りと美しい色に、パテ気味の夏の日でも食に爽やかさを味付けしてくれます。でも…「茗荷を食べすぎると物忘れがひどくなる」。そんな話を聞いたことがありませんか？これはお釈迦さまの弟子にまつわるこんな逸話からきているようです。



お釈迦さまの弟子の一人、周利槃特（チューダ バンダカ）は、弟子の中でもっとも愚かで頭の悪い人だったと伝えられ、仏弟子となっても四ヶ月を経て一偈をも覚えることができなかったそうです。そんな話しかから、彼は自分の名前すらすぐに忘れてしまうので首から名札を下げていたとも伝えられ、彼の死後その墓の辺りに繁った植物に村人が、名前を荷なう（自分の名を覚えられず名札を背負っていた）という意味の「茗荷」と名付けたという説があり、この話から「茗荷を食べすぎると物忘れがひどくなる」という俗説が生まれたのだとか…。

実際に茗荷を多く食べたとしても、もちろん物忘れなどしません。むしろ、茗荷のもつ香り成分には、食欲増進や発汗作用のほか、記憶や集中力を高める脳の働きを活性化する作用もあるそうです。

ちなみに、茗荷はその音から冥加（知らないうちに受ける神仏の加護）に通じることから縁起を担ぎ家紋などにも多く使われています。



◆編集後記◆

夏の風物詩と言えば皆さん何を思い浮かべますか？私
は、セミの鳴き声と風鈴。音に関するものが多い気がし
ます。打ち上げ花火や遠くから聞こえる盆踊り大会の音
なんていうのもそうですね。ただ、最近ではどれもちょ
っと懐かしく感じるくらいに私の生活から遠ざかってい
るような……。実際に夏の音が減っているのか、それとも
私が季節の音に耳を傾ける時間が減っているのか？ も
し、後者だとしたら情緒豊かな毎日の為にももっと感覚
を磨かないとですよ。

西願寺の夏の風物詩は、やっぱり施餓鬼会でしょう
か？ 大きな法要に参列し供養するのは自分自身の心にも響くものです。皆さま、是非ご参拝ください。三遊亭春馬師匠の落語で笑って暑さを吹き飛ばすのもおすすめです。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部